

令和7年度岡山県生成AI利用環境整備業務提案書評価基準

1 基本的な考え方

- (1) 候補者の選定に当たっては、本県にとって最適な事業者を選定するため、提案内容の評価に見積価格の評価を加算する総合評価方式を採用し、総合点の最も高かった者を候補者に選定する。
- (2) 提案書の評価は、「3 提案書評価表」に基づき内容を評価し、「内容点」を与える。
- (3) 見積書の評価は、後に示す計算式に基づき、見積価格に対する点数(以下「価格点」という。)を与える。
- (4) 候補者の選定方法は、(2)及び(3)で評価した「内容点」及び「価格点」の合計点数が最も高い者を候補者とする。内容点と価格点の割合は、3対2とする。提案者の獲得する合計点は、内容点と価格点の単純な和となる。
- (5)「内容点」及び「価格点」の算出にあたっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目を四捨五入する。
- (6) 合計点数の最も高い者が2者以上あるとき(同点のとき)、提案者それぞれの「内容点」、「価格点」が異なる場合は、「内容点」が高い者を候補者とする。提案者それぞれの「内容点」及び「価格点」が同じ場合、別途日を定め、くじ引きにより候補者を決定する。

2 内容点の算定方法

提案内容の評価は、全評価項目満点で100点とし、次の「項目評価点の考え方」に基づいて採点する。

【項目評価点の考え方】

提案書評価表における評価項目単位の採点は0～4点までの5段階で評価する。

- ①本県で想定していた提案であれば「2点」(基準点)とする。
- ②優れた提案は「3点」とする。
- ③特に優れた提案は「4点」とする。
- ④劣っている提案は「1点」とする。
- ⑤非常に低いレベルの提案及び記述のないものは「0点」とする。

評価した採点値に評価項目毎に定める加重値を乗じた値を項目評価点とする。

審査委員毎に項目評価点の集計を行った値を委員評価点とし、全委員評価点を合算した上で、委員数で除した値を「内容点」とする。

3 提案書評価表

別表1のとおり

4 価格点の算定方法

見積価格の評価は、50点を満点とし、次のように算定する。

$$\text{価格点} = 50 \times (1 - \text{見積価格} / \text{予定価格})$$

※見積価格及び予定価格には消費税及び地方消費税の額を含む。

【別表1 提案書評価表】

記載項目	評価項目	荷重	配点
1 機能要件	① 低コストで高精度の言語モデル(GPT-4o mini、Gemini Flash等)も利用可能か。	2	8
	② 仕様書で「望ましい」と表記した次の機能に対応しているか。 1) GeminiやClaude等の複数の大規模言語モデルを切り替えて利用できる 2) アップロードした独自データはフォルダごとに権限分けが可能である 3) ダッシュボードやポータル画面等でデータ利用量が管理者だけでなく利用者にも把握できる 4) 契約期間中であってもプラン変更が可能である	3	12
2 セキュリティ	③ セキュリティ要件(オプトアウト、準拠法:日本法、管轄裁判所:日本国内の裁判所)を満たす言語モデルが充実しているか。	3	12
3 利用環境	④ 想定使用量に見合ったプランか。	2	8
4 提案に基づく活用支援	⑤ 幹部職員向け研修は、幹部職員の理解促進、トップダウン推進につながる内容か。	4	16
	⑥ その他の提案内容が具体的で実現可能か。	3	12
	⑦ その他の提案内容が、機運醸成、導入効果増大、利便性向上に繋がるか。	3	12
5 実施体制	⑧ サポート体制が手厚いか。	3	12
	⑨ 過去に類似事業等の実績があるか。	2	8
合計(内容点)			100

②、⑨について、提案や実績がない場合は、点数を1点として評価し、加重値を乗じた値を項目評価点とする。(=0点とはしない。)

例)⑧で実績がない場合

1点×2(荷重値)=2点